



マルチカウンタ

# MC II

取扱説明書 V3.30

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。  
必要な時にすぐにお読みいただけるように大切に保管して下さい。



## 安全上のご注意（必ずお読み下さい）

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に、生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。



この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



**注意**

- 全てに共通の取り扱いについて

- 湿気・ほこりの多い場所での使用は避けて下さい。ほこりや水分が入り、故障・火災・感電の原因となることがあります。



- 本機の取り扱いについて

- 本機は、精密部品で作られた無線通信機器です。分解・改造はしないで下さい。事故や故障の原因となります。



**警告**

- 本機の取り扱いについて










- 人命にかかわるような極めて高い信頼性を要求される用途には、ご使用にならないで下さい。



# 警告



## ■電源の取り扱いについて

電源コードの発熱、破損、発火などの事故防止のため、次のことは必ずお守り下さい。

●電源コードを火に近づけたり、火の中に入れて下さい。電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	
●本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では使用しないで下さい。	
●濡れやすい場所で、本体を使用しないで下さい。発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	
●濡れた手で本体・電源コード・コンセントに触れないで下さい。感電などの事故の原因となります。	
●電源コードを破損させないで下さい。ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	
●電源プラグにほこりが付着したままで使用しないで下さい。ショートや発熱により火災や感電の原因になります。	
●電源コードの変形などに気づいたら、使用しないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	
●引火性ガスが発生する場所では、本体を使用しないで下さい。発火事故などの原因になります。	
●絶対に電源コード、本機に内蔵している電源ユニットを分解しないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	

## ■使用中に異常が発生したときは

火災・感電等の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社に修理を依頼して下さい。

●煙が出たり、変なおいがするときは使用を中止し、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社に修理を依頼して下さい。	
●電源コードが傷んだら使用しないで下さい。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。	

1. 適用 .....	1
2. 特徴 .....	1
3. 仕様 .....	2
3-1. 一般仕様 .....	2
3-2. 作動規格 .....	2
4. 各部の名称と働き .....	3
4-1. 各部の名称 .....	3
4-2. 端子台及びディップスイッチの位置 .....	3
4-3. 端子の回路構成 .....	5
5. 機能 .....	6
5-1. ディップスイッチの機能 .....	6
5-1-1. 動作モードの設定－SW1 .....	6
5-1-2. 出力の設定－SW3, 4 .....	6
5-1-3. 表示方法の設定－SW5(ストップウォッチモード時のみ) .....	6
5-2. 動作モードと各端子の機能 .....	7
5-2-1. 各動作モード共通 .....	7
5-2-2. 計数カウンタモード .....	8
5-2-3. ストップウォッチモード .....	8
6. 操作方法 .....	9
6-1. 計数カウンタモード .....	9
6-2. ストップウォッチモード .....	9
7. キーボードの操作方法(オプション) .....	10
7-1. 計数カウンタモード .....	11
7-2. ストップウォッチモード .....	12
8. 使用上の注意 .....	14
9. 保証とアフターサービス .....	15
付属-1. 製品外観寸法 .....	19

## 1. 適用

本取扱説明書は、マルチカウンタ[MC II]に適用します。

## 2. 特徴

本装置は、ディップスイッチによって計数カウンタ、ストップウォッチを選択できる4桁の1項目表示装置です。

- ①ディップスイッチにて動作モードを切り替えられます。
- ②データバックアップ機能がついている為、停電してもデータは失われません。
- ③キーボードユニットを取り付ける事によりデータプリセット機能が使えます。(オプション)
- ④マイコンを搭載し、入出力端子を数多く用意してあるのでソフトの変更により様々な応用が可能です。
- ⑤測定値が0または、予め設定した値になった時の出力機能が用意されています。(ゼロ時出力機能、イコー  
ル時出力機能)  
リレー出力端子EO、ZOにブザー、回転灯、メロディーホーンなどを取り付ける事により、これらの機能を利用する事ができます。
- ⑥両面タイプもご用意できます。両面タイプの型式は「MCW II」となります。

### 3. 仕様

#### 3-1. 一般仕様

型式	MC II	MCW II
表示内容	4桁1段	
表示面	片面	両面
表示素子	高輝度赤色7セグメントLED表示	
1文字寸法	110H×60Wmm	
外形寸法	600W×290H×80Dmm	
電源	AC100V(最大入力範囲:AC85~125V) 電源ケーブル(2P) 約1.5m付き	
使用環境	温度:0~50℃ 湿度:85%以下(結露なきこと)	
入出力	①無電圧接点入力×4 (UP/DW/CL/SFT端子) ②リレー出力×2 (E0端子、Z0端子) 最大定格負荷 AC125V 0.5AあるいはDC24V 1A ③キーボード用×1式(KEY1/KEY2/+5V/GND)	
消費電力	MAX25W	MAX35W
重量	約5.4kg	約5.5kg

#### 3-2. 作動規格

積算数	最大9999 ※1
積算時間	最大99時間59分59秒 ※2

※1 積算数が9999の時、次のカウントアップで積算数は0になります。

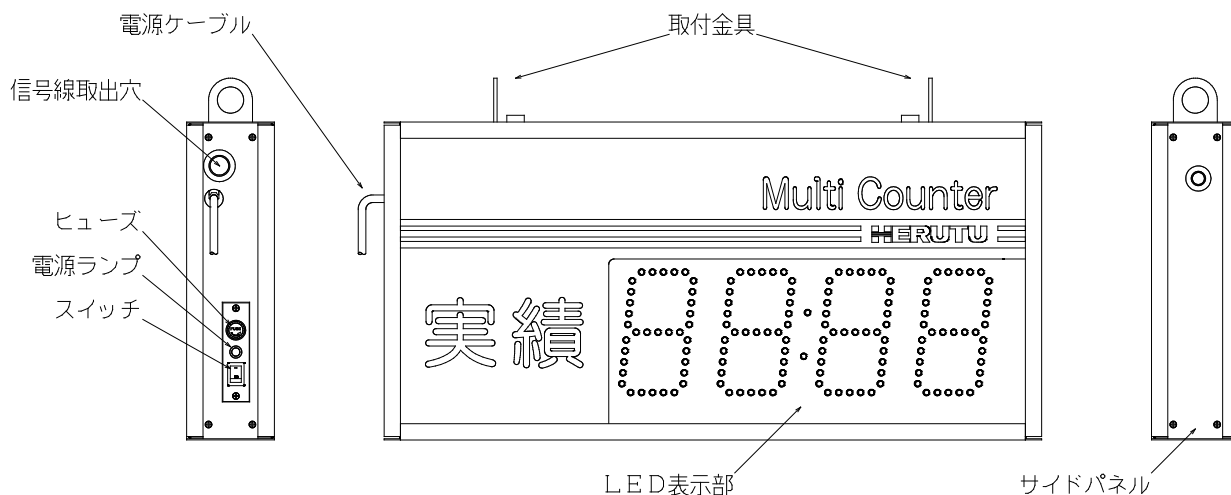
また、積算数が0の時、次のカウントダウンで積算数は9999になります。

※2 積算時間が99時間59分59秒の時、次の+1秒で積算時間は0秒になります。

また、積算時間が0秒の時、次の-1秒で積算時間は99時間59分59秒になります。

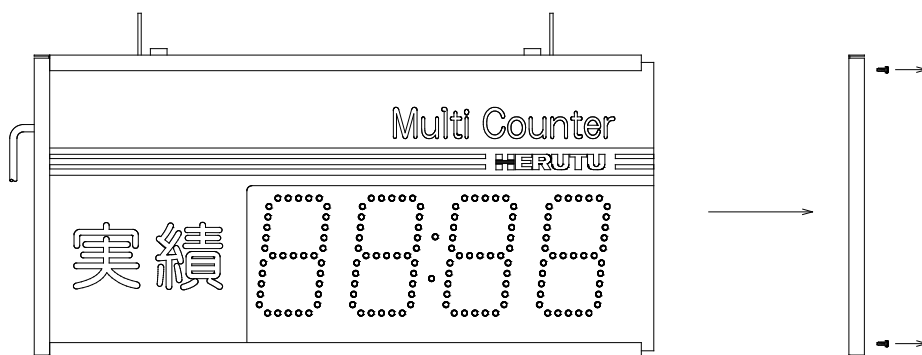
## 4. 各部の名称と働き

### 4-1. 各部の名称

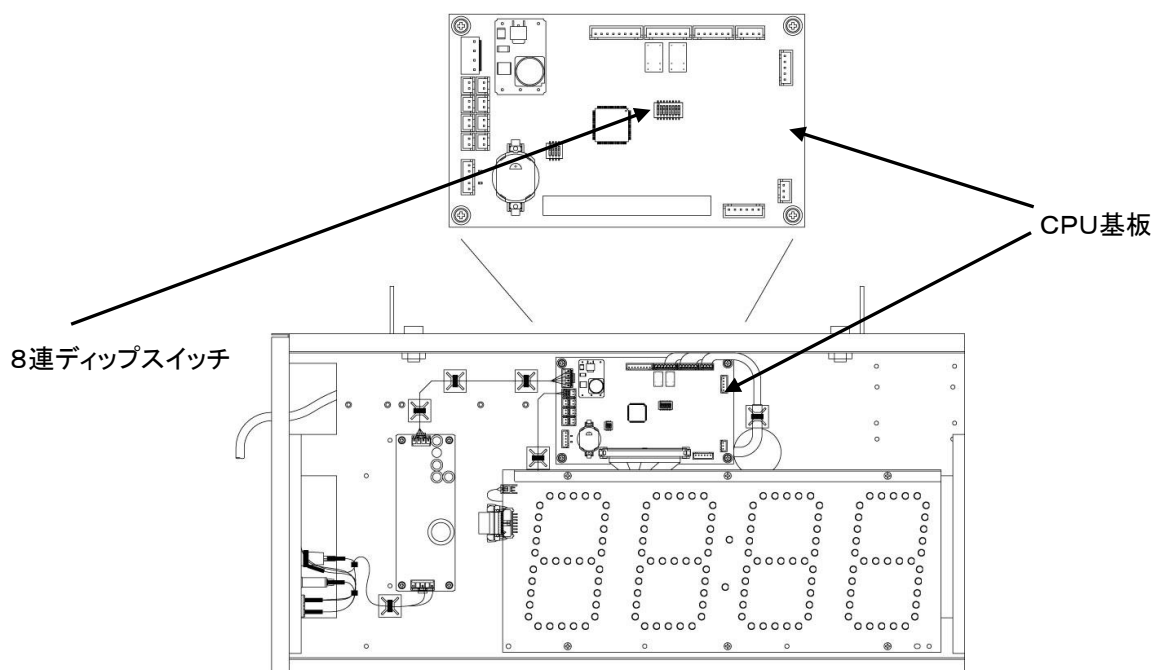


### 4-2. 端子台及びディップスイッチの位置

ディップスイッチ及び端子台は、本体内部にあります。本体側面のビス2本を外し、サイドパネルを外します。アクリル板をスライドすることにより端子台及びディップスイッチを確認できます。ディップスイッチは正面のCPUボード上にあります。端子台は背面にあります。



#### <ディップスイッチ>

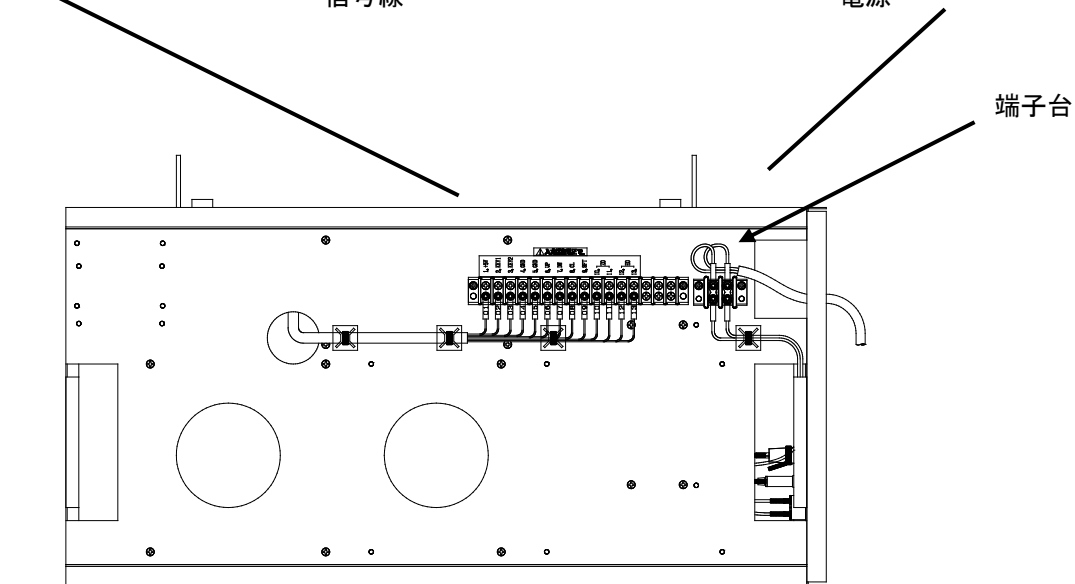
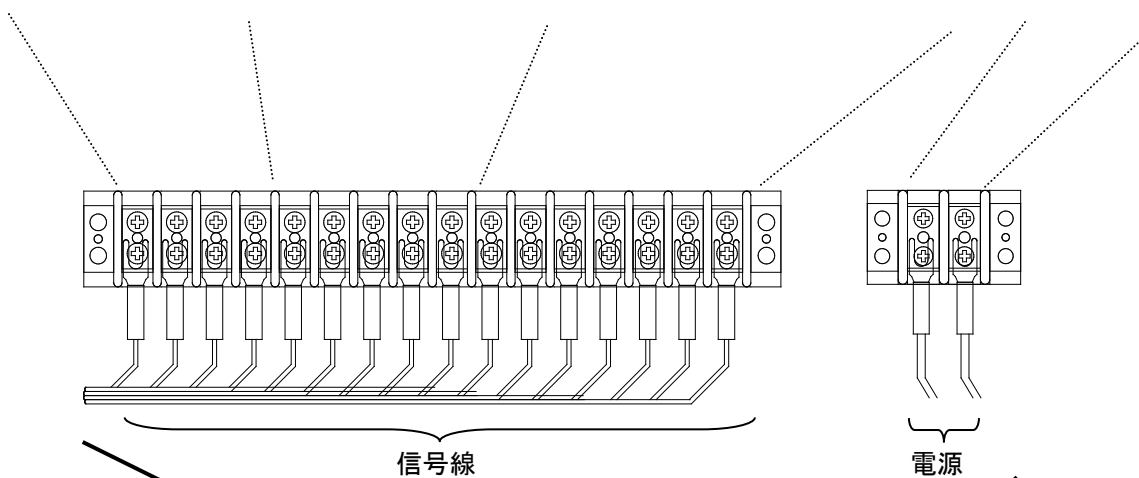




< 端子台 >

【正面】

キーボード ユニット				無電圧接点入力					リレー出力			電源				
+5V	KEY1	KEY2	GND	GND	UP	DW	CL	SFT	Z	O	E	O	未使用	未使用	未使用	AC100V

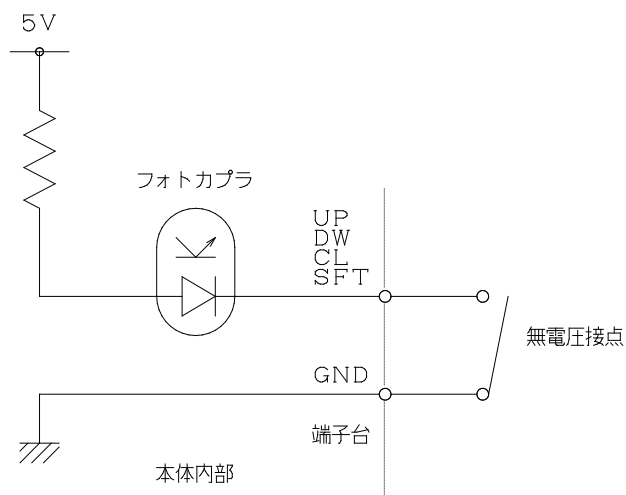


【背面】

### 4-3. 端子の回路構成

#### ■入力回路—無電圧接点入力

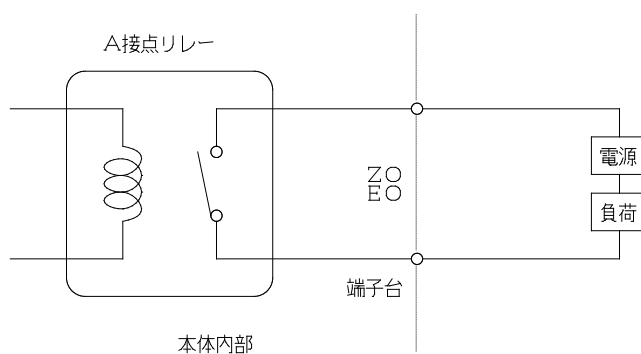
UP/DW/CL/SFT端子には、リミットスイッチ等の5V、10mAの電圧・電流を安定してON・OFFでき、チャタリングの少ない無電圧接点信号を入力してください。



#### ■出力回路—リレー出力

ZO端子、EO端子からは、リレー出力(A接点)します。

最大定格負荷は AC125V0.5A あるいは、DC24V1A です。(ブザー、回転灯、メロディーホーンなどを取り付けられます。)



## 5. 機能

### 5-1. ディップスイッチの機能

CPU基板上の8連ディップスイッチSW1、3～5を使用して各種機能設定を行います。  
SW6～8は出荷状態より変更しないでください。変更すると正常に動作しなくなります。  
ディップスイッチを変更する場合は必ず電源をOFFにして行ってください。

#### 5-1-1. 動作モードの設定－SW1

SW1によって本機の動作モードを計数カウンタ、ストップウォッチのいずれに設定するか選択します。

SW1による動作モードの設定

SW1	選択されるモード
OFF	計数カウンタ
ON	ストップウォッチ

#### 5-1-2. 出力の設定－SW3, 4

SW3, 4によってイコール時出力機能、ゼロ時出力機能の有効・無効を設定します

SW3によるゼロ時出力機能の設定

SW3	選択される出力設定
OFF	ゼロ時出力機能 無効
ON	ゼロ時出力機能 有効

SW4によるイコール時出力機能の設定

SW4	選択される出力設定
OFF	イコール時出力機能 無効
ON	イコール時出力機能 有効

#### 5-1-3. 表示方法の設定－SW5(ストップウォッチモード時のみ)

SW5によってストップウォッチモード時の表示方法を設定します。

SW5による表示方法(ストップウォッチモード時のみ)の設定

SW5	選択される出力設定
OFF	時:分 表示時に点滅する
ON	分:秒 表示時に点滅する

## 5-2. 動作モードと各端子の機能

動作モード別の端子機能については下記表の通りとなります。

動作モード別端子機能

動作モード 端子	計数カウンタ	ストップウォッチ
U P	カウントアップ	時間のカウントアップ 開始・終了
D W	カウントダウン	時間のカウントダウン 開始・終了
C L	計数0クリア	積算時間0クリア
S F T	未使用	[分:秒]・[時:分] 表示切り替え
Z O	ゼロ時出力端子	
E O	イコール時出力端子	

以下に、動作モード別の端子機能について説明します。

### 5-2-1. 各動作モード共通

ZO端子/EO端子/KEY端子/+5V端子は、各動作モードで共通の機能を持っています。

#### ■ZO端子

ゼロ時出力機能を有効(ディップスイッチのSW3を ON)にしてあれば、測定値が0になった時にリレー出力します。

#### ■EO端子

イコール時出力機能を有効(ディップスイッチのSW4を ON)にしてあれば、測定値が予め設定しておいた値になった時リレー出力します。

イコールデータは、キーボードユニットが取り付けられていないときは、設定できません。取り付けしていない場合は、イコールデータは0です。

### 5-2-2. 計数カウンタモード

#### ■UP端子

接続されている無電圧接点が ON する毎に計数のカウントアップをします。

#### ■DW端子

接続されている無電圧接点が ON する毎に計数のカウントダウンをします。

#### ■CL端子

接続されている無電圧接点が ON すると計数が0クリアされます。

#### ■SFT端子

未使用

### 5-2-3. ストップウォッチモード

#### ■UP端子

接続されている無電圧接点が ON の間、時間を秒単位でカウントアップします。

#### ■DW端子

接続されている無電圧接点が ON の間、時間を秒単位でカウントダウンします。

#### ■CL端子

接続されている無電圧接点が ON すると、積算時間を0クリアします。

#### ■SFT端子

接続されている無電圧接点が ON する毎に[分:秒]表示と[時:分]表示の切り替えをします。

ディップスイッチSW5により、表示約2秒、非表示約0.1秒の動作を[分:秒]と[時:分]のいずれで行うかを設定できます。

## 6. 操作方法

計数カウンタ、ストップウォッチの各モードの操作方法について説明します。

各信号線の接続及び動作モードの設定、イコール時出力機能及びゼロ時出力機能の有効・無効の設定を行ってからご覧ください。

### 6-1. 計数カウンタモード

①電源SWをONします。

②UP端子、DW端子に接続された無電圧接点がONする毎に計数のカウントアップ・カウントダウンをします。

#### 【注意】

・積算数は、CL端子に接続されている無電圧接点をONする事により0クリアされます。

(CL入力によって「0」になった場合は、イコール時出力とゼロ時出力はしません。)

※オプションのキーボードが有る場合の操作方法は、「7-1. 計数カウンタ」(P11)を参照してください。

### 6-2. ストップウォッチモード

①電源SWをONします。

②UP端子、DW端子に接続された無電圧接点がONの間、時間のカウントアップ・カウントダウンをします。

#### 【注意】

・積算時間は、CL端子に接続されている無電圧接点をONする事により0クリアされます。

(CL入力によって「0」になった場合は、イコール時出力とゼロ時出力はしません。)

・測定中は、時間表示用コロンが約0.5秒間隔で点滅します。

・SFT端子に接続されている無電圧接点がONする毎に[分:秒]表示と[時:分]表示が切り替わります。

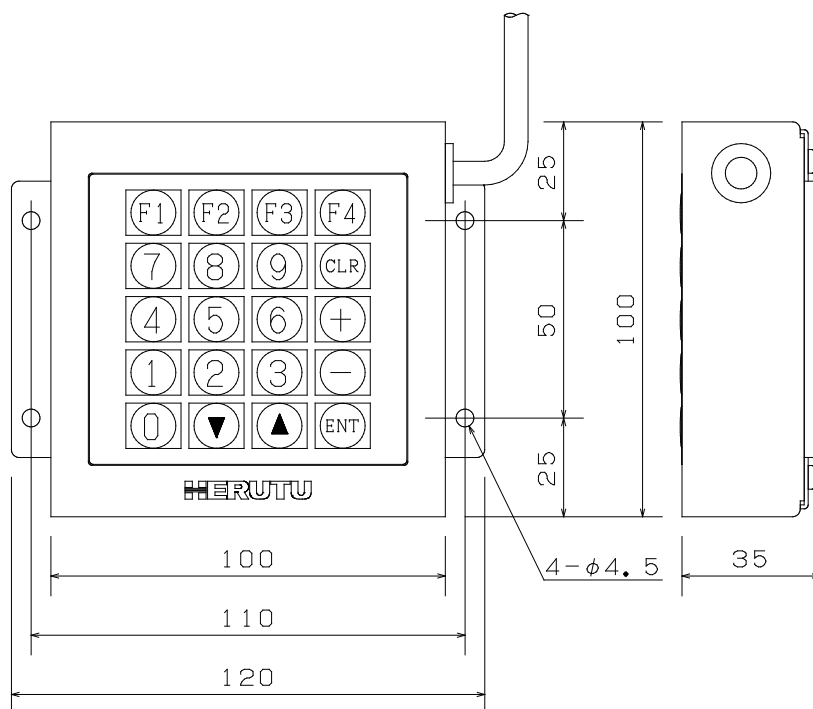
ディップスイッチSW5により、表示約2秒、非表示約0.1秒の動作を[分:秒]と[時:分]のいずれで行うかを設定できます。尚、電源投入直後は、前回の表示状態を保持します。

※オプションのキーボードが有る場合の操作方法は、「7-2. ストップウォッチ」(P12)を参照してください。

## 7. キーボードの操作方法(オプション)

オプションのキーボードユニット(KE-2)の仕様及び各動作モードでの操作方法を説明します。

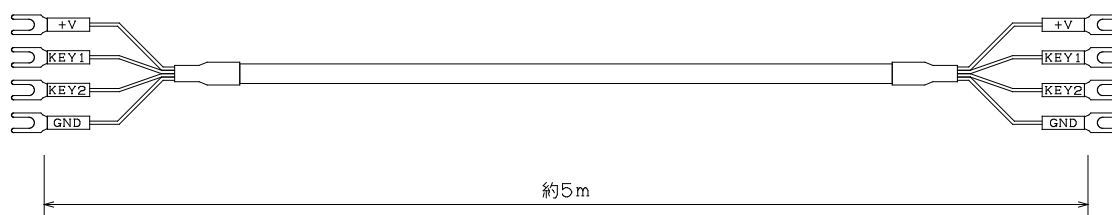
型式	KE-2
キーシート	メンブレンスイッチ 20キー 【F1】~【F4】, 【0】~【9】, 【▲】(UP), 【▼】(DOWN) 【+】, 【-】, 【CLR】, 【ENT】
入出力部	入力 電源用 +5V 出力 信号用 KEY1 " KEY2 GND
外形寸法	120W×100H×35Dmm
重量	約550g
通信ケーブル	4芯ケーブル(シールド付, 0.2sq) 約5m



### 通信ケーブル

圧着端子 1.25Y-3N

圧着端子 1.25Y-3N



## 7-1. 計数カウンタモード

### ■ 計数のカウントアップ・カウントダウン

【▲】(UP)キー、【▼】(DW)キーを押す毎に計数がカウントアップ・カウントダウンします。

### ■ 積算数のクリア

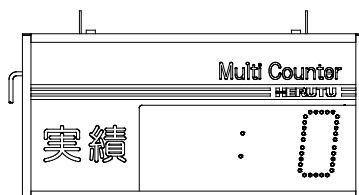
【CL】(クリア)キーを押す事によって積算数がクリアされます。

(CL入力によって「0」になった場合は、イコール時出力とゼロ時出力はしません。)

### ■ プリセット値(積算数)の設定

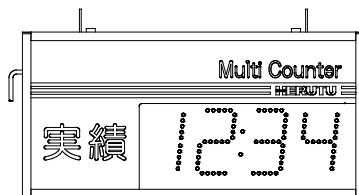
積算数を“1234”にプリセットする場合を例にとり説明します。

①【1】キーを押します。コロンの“:”が点灯し、現在のプリセット値が表示されます。

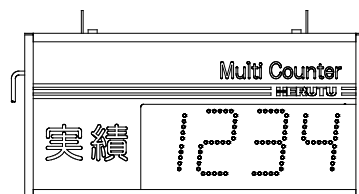


コロンの“:”が点灯し、  
現在のプリセット値が表示されます。

②【1】【2】【3】【4】と入力します。もし間違えた場合は、【CL】キーを押して最初から入力してください。



③【ENT】を押してください。これで積算数のプリセット値の設定は完了です。



コロンの“:”が消灯し、新しいプリセット値  
が設定されます。

ただし、何も入力せずに【ENT】キーを押した場合は、積算数がプリセット値にセットされます。

【CL】キーを押すと、何も設定されずにコマンドを終了します。

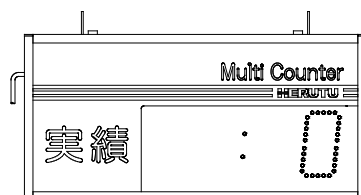


### ■イコールデータ値の設定

イコールデータ値と積算数が同じになったときEO端子からリレー出力を行います。

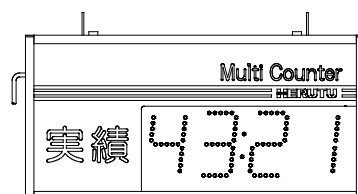
イコールデータ値を“4321”に設定する場合を例にとり説明します。

①【2】キーを押します。コロン“:”が点灯し、現在のイコールデータ値が表示されます。



コロン“:”が点灯し、  
現在のイコールデータ値が表示されます。

②【4】【3】【2】【1】と入力します。もし間違えた場合は、【CL】キーを押して最初から入力してください。



③ここで【ENT】を押せばイコールデータ値が設定されます。

ただし、何も入力せずに【ENT】だけを入力した場合と、何も入力せずに【CL】【ENT】と続けて入力した場合は、何も設定されずコマンドを終了します。

## 7-2. ストップウォッチモード

### ■時間の計測

【▲】(UP)キー又は【▼】(DW)キーを押す事により秒単位で時間のカウントアップ・カウントダウンが始まります。時間表示用コロンが約0.5秒間隔で点滅します。

再び、【▲】(UP)キー又は【▼】(DW)キーを押すことにより時間の計測は終了し、時間表示用コロンは消灯します。

### ■積算時間のクリア

【CL】キーを押すことにより積算時間は、0クリアされます。

(CL入力によって「0」になった場合は、イコール時出力とゼロ時出力はしません。)

### ■時間表示切り替え

【+】キーが押される度に[分:秒]表示と[時:分]表示が切り替わります。

ディップスイッチSW5により設定された表示方法により[時:分]表示中、または[分:秒]表示中のどちらかは、表示約2秒、非表示約0.1秒で点滅します。

尚、電源投入直後は、前回の表示状態を保持します。

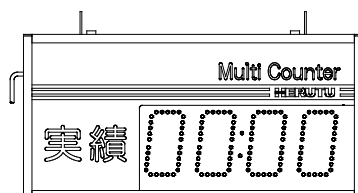
### ■プリセット値(積算時間)の設定

積算時間を12時間34分56秒にプリセットする場合を例にとり説明します。

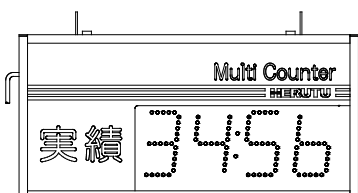
①【1】キーを押します。

現在のプリセット時間が、[分:秒]表示されます。表示の切り替えは、【+】キーを押す事により可能です。

[時:分][分:秒]のいずれが表示されているかは、ディップスイッチSW5により設定された表示方法により[時:分]表示中、または[分:秒]表示中のどちらかが表示約2秒、非表示約0.1秒で点滅しますので、それによりご判断下さい。



②【1】【2】【3】【4】【5】【6】と入力します。もし、間違えた場合は、【CL】キーを押して最初から入力してください。



コロン“:”が消灯し、新しいプリセット値が設定されます。

ここで、【ENT】キーを押せば積算時間のプリセット値が設定されます。

ただし、何も入力せずに【ENT】だけを入力した場合は、積算時間はプリセット値にセットされます。

【CL】キーを押すと、何も設定されずにコマンドを終了します。

また、90分などの非論理的なデータを入力した場合は、表示を0クリアし正しいデータの入力待ちとなります。

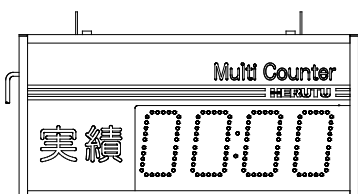
### ■イコールデータ値の設定

イコールデータ値と積算時間が同じになったときEO端子からリレー出力します。

イコールデータを65時間43分21秒に設定する場合を例にとり説明します。

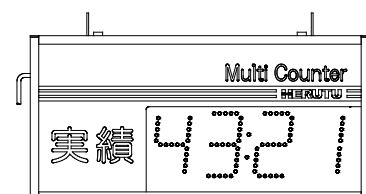
①【2】キーを押します

現在のイコールデータが、[分:秒]表示されます。表示の切り替えは、【+】キーを押す事により可能です。



コロン“:”が点灯し、現在のイコールデータ値が表示されます。

②【6】【5】【4】【3】【2】【1】と入力します。もし、間違えた場合は【CL】キーを押して最初から入力してください。



コロン“:”が消灯し、新しいイコールデータ値が設定されます。

ここで、【ENT】キーを押せばイコールデータ値が設定されます。

ただし、何も入力せずに【ENT】だけを入力した場合と、何も入力せずに【CL】【ENT】と続けて入力した場合は、イコールデータの設定は行われません。

また、90分など、非論理的なデータを入力した場合は、表示を0クリアし正しいデータの入力待ちとなります。

## 8. 使用上の注意

【1】一度設定したデータや測定したデータは、電源をOFFにしても失われません。

ただし、動作モードを変更した場合は0クリアされます。

【2】ストップウォッチモードでの時間のカウントアップ・ダウンの終了は、それを開始させたキーあるいは、端子によってのみ可能です。

例えばUP端子によって始められた時間のカウントアップは、【▲】(UP)キーや【▼】(DW)キーでは終了できません。この場合は、UP端子に接続された無電圧接点のOFFによってのみ終了可能となります。

【3】本装置は、内部にマイコンを内蔵しているため電源に変動・瞬電によりデータが壊れる可能性がありますので、電源は変動・瞬電のない所から取ってください。

【4】本装置は、内部に水晶時計を持っています。時計の精度は通常の使用に十分耐えうらと思われませんが、水晶の発信周波数は、温度により変化しますので、使用場所の環境・温度変化等で多少のズレを生じることがあります。

【5】E0端子、Z0端子の信号線と他の信号線は、なるべく離して本体に接続してください。あまり近づけすぎるとE0端子、Z0端子のON・OFF時に誤動作する恐れがあります。

## 9. 保証とアフターサービス

正常な状態でご使用中に、万一機器の異常が確認されたときには、保証規定及び修理規定をご確認の上、お買い上げの販売店、または弊社営業部までお問い合わせ下さい。なお、最新の保証規定及び修理規定は、弊社ホームページでご確認いただけます。

### 〔保証規定〕

本規定は、お買い上げになられたヘルツ電子株式会社(以下「当社」といいます)の製品を安心してご利用いただけるよう、出荷後の保証について当社が定めたものです。

なお、本規定は特注品(カスタム品)には適用されません。また、仕入品は製造元の保証規定が適用されるものとし、本規定は適用されません。

<ご注意>万が一、お客様がお買い上げになられた製品に当社の旧保証規定が記載された取扱説明書が同封されていた場合であっても、最新の規定が適用されますので、ご了承ください。

### ■保証期間

保証期間は、他に定めのない限り、「当社が製品を出荷した日から 13 ヶ月まで」といたします。保証期間内は、本規定の定めにより当社にて無償で新品交換または修理をいたします。

また、保証期間内に当社の責任による故障が発生し、故障が発生した製品(以下「本製品」といいます)を無償で新品交換または修理を実施した場合の本製品の保証期間は、「本製品の初回出荷日から 13 ヶ月、または新品交換もしくは修理を実施した本製品の出荷日から 6 ヶ月のいずれか遅く訪れる日まで」といたします。なお、有償で修理を実施した場合の保証期間は、当社の修理規定の定めるところによります。

### ■保証範囲

保証期間内に当社の責任による故障が発生した場合、本製品を無償で新品交換または修理実施いたしますので、お買い上げの販売店、または当社営業部にお申し出ください。

保証期間内であっても、以下の各号に該当する場合は保証の対象外といたします。

1. お客様による輸送・移動時の落下・衝撃等、お客様のお取扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。
2. お客様による本体の分解や改造による故障の場合。
3. 火災・地震・水害等の天災地変及び異常電圧による故障・損傷の場合。
4. 本製品に接続している当社指定機器以外の機器の故障に起因する故障の場合。
5. 本製品の付属品(ACアダプタ、アンテナ、接続ケーブル等)の故障の場合。
6. 本製品に含まれる消耗品・有寿命部品の故障に起因する場合。
  - ① 消耗品:電池類(蓄電池、乾電池、ボタン電池等)、記録媒体(SDカード等)
  - ② 有寿命部品:各種スイッチ類(リミットスイッチ、押しボタンスイッチ等)、各種センサ
  - ③ その他使用により消耗・寿命があるもの

消耗品・有寿命部品が故障した場合は、有償での部品交換もしくは修理をいたします。

7. 本製品の取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取扱いによって生じた故障の場合。
8. 当社以外で修理・調整・改良した場合。
9. 当社において故障の再現ができない場合。

**■本製品の修理について**

本製品の修理は測定機器・治具等の設備を必要とするため、当社での引き取り修理といたします。

**■本製品の新品交換または修理にかかる送料について**

本製品を当社または販売店に送付いただく場合の送料、及び当社または販売店から新品交換または修理を実施した本製品をお客様へ送付する場合の送料は、当社または販売店にて負担いたします。

**■免責事項**

本製品の故障、もしくはその使用によって生じた直接的・間接的な損害、金銭的損失については一切の責任を負いません。

**■その他**

当社ホームページ上及び当社が提供しているカタログ、取扱説明書、技術資料、またはその他の資料に記載されている本製品の情報は、お客様にお断りなく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

**〔修理規定〕**

本規定は、ヘルツ電子株式会社(以下「当社」といいます)が提供する有償修理サービス(以下「本サービス」といいます)に適用されるものといたします。

なお、本規定は特注品(カスタム品)には適用されません。また、仕入品は製造元の修理規定が適用されるものとし、本規定は適用されません。

<ご注意>万が一、お客様がお買い上げになられた製品に当社の旧修理規定が記載された取扱説明書が同封されていた場合であっても、最新の規定が適用されますので、ご了承ください。

**■規定対象**

本サービスは、「保証規定に定める保証範囲外」かつ「販売開始日から修理実施期間終了日(生産終了日から7年)まで」の当社製品を対象として提供いたします。ただし、修理部品の在庫状況や調達状況により、修理実施期間終了日が早まる可能性がございますのでご了承ください。

**■契約の成立**

お客様が当社よりご提示したお見積書にご承諾いただき、修理実施期間終了日までにご注文書を発行いただいた時点で成立するものといたします。

**■本サービスの目的**

当社は、お客様にご利用いただいている当社製品が保証規定に定める保証範囲外で故障した場合、その機能・性能を修復することを目的として、本サービスを提供いたします。

なお、本サービスは測定機器・治具等の設備を必要とするため、当社での引き取り修理といたします。

**■本サービスのご利用料金**

本サービスのご利用料金は、以下の料金の合計といたします。

### ① 修理サービス料

修理サービス料は、お客様が修理をご希望する当社製品（以下「修理品」といいます）に対する修理実施に伴う、技術料＋部品代＋諸経費＋消費税の合計です。

### ② 送料（梱包箱代含む）

修理品を当社に送付いただく場合の送料及び当社から修理品をお客様へ送付する場合の送料は、お客様のご負担でお願いいたします。万が一、修理品を着払いでご送付いただいた場合は本サービスのご利用料金に含めるものといたします。

### ■修理品の保証期間と保証範囲

修理品の保証期間は、「修理完了日から6ヵ月まで」といたします。ただし、当該修理部分（修理箇所や交換した部品）以外の故障は修理品の保証対象になりませんのでご注意ください。

なお、保証期間内に当社の責任による故障が発生した場合、本製品を無償で再修理を実施いたします。

### ■修理部品の取扱い

1. 本サービスを長期かつ安定して提供し、また環境保護等を推進するため、当社の判断により修理の際に再生部品または代替部品を使用することがあります。
2. 本サービスの提供による部品交換の際に取り外した部品を、リサイクルや分析などのために、当社の任意の判断で回収させていただく場合があります。回収した部品は当社の所有物として、当社の判断により、再生・利用または廃棄等をおこないますので、あらかじめご了承ください。

### ■本サービスのお見積

本サービスのお見積りにかかる費用は基本的に無償となります。

ただし、当社において故障の再現ができない場合は修理を実施できないため、お見積りをいたしません。なお、故障の再現に技術調査等が必要な場合は、故障の再現にかかる費用をお見積りいたします。

### ■未修理品の返却

当社において故障の再現ができなかった等の理由により、本サービスの料金のお見積りを実施しなかった場合、お預かりした修理品をお客様に返却いたします。

また、お見積書の作成日から3ヵ月を超えても、お客様からご注文をいただけなかった場合、もしくはお見積書にご承諾いただけず、お客様より修理を実施しない意思表示があった場合は、お客様が本サービスのご依頼をキャンセルされたものとし、当社は修理を実施せずにお預かりした修理品をお客様に返却いたします。なお、返却にあたり送料が発生する場合は、お客様のご負担といたします。

### ■個人情報の取り扱い

お客様よりご提供いただいたお客様の氏名・住所などの個人情報は、当社ホームページ上に掲載するプライバシーポリシーに従い、適切に取扱いをいたします。

### ■損害賠償

1. 当社が本サービスの提供について負う責任は、本規定に定める事項・内容に限られるものとし、特別な事情からお客様に生じた損害（お客様の逸失利益、第三者からお客様になされた賠償請求に基づく損害を含み

ます)およびお客様が修理品の故障・不具合等により当該製品を使用できなかったことによる損害については一切の責任を負わないものといたします。ただし、当該損害が当社の故意・重過失に基づき生じたものである場合はこの限りではありません。

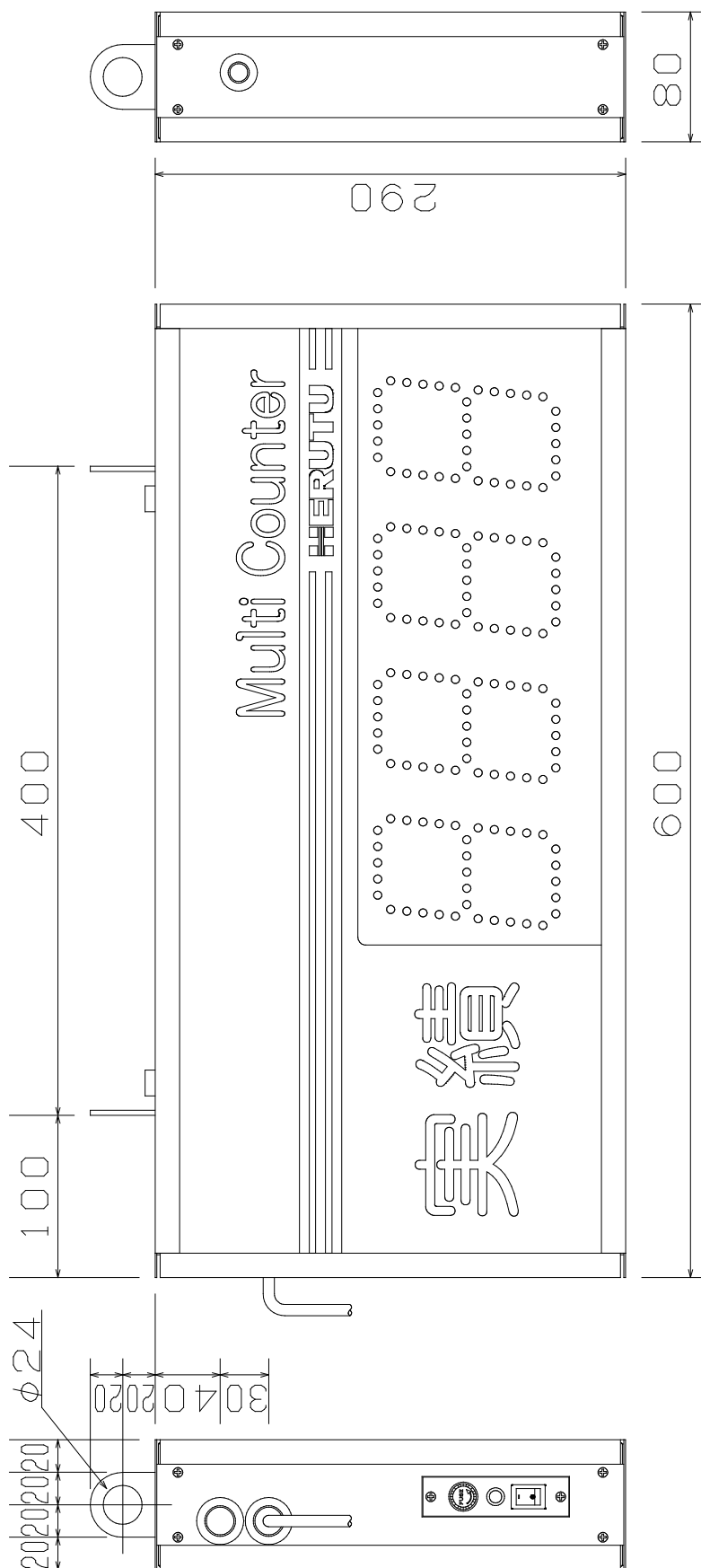
2. 本サービスの提供に関し、当社がお客様に対して損害賠償責任を負う場合であっても、当社の故意・重過失の場合を除き、当社の責任は修理品の価値に相当する金額を上限といたします。なお、修理品の価値は、減価償却後の残存価値、または損害発生時に市場で販売されている同等の性能の商品の価格を基準として算出するものといたします。

#### ■その他

1. お客様ご自身が貼られたシールや液晶保護シート類、外筐部品に施されたカラーリング等の原状復帰はいたしかねます。また、POPシール類が販売時に貼付されていた場合、外筐部品の交換の際にこれらPOPシール類は修理部品として新しくご用意できません。外筐部品交換後は、POPシール類は貼付されていない状態での返却となります。

2. 当社ホームページ上及び当社が提供しているカタログ、取扱説明書、技術資料、またはその他の資料に記載されている本製品の情報は、お客様にお断りなく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

付属-1. 製品外観寸法













ヘルツ電子株式会社  
HERUTU ELECTRONICS CORPORATION

〒433-8104 静岡県浜松市北区東三方町 422-1

(営業部)TEL. 053-438-3555 FAX. 053-438-3411

ホームページ <https://www.herutu.co.jp> E-mail [info@herutu.co.jp](mailto:info@herutu.co.jp)